



JASDAQ

2020年12月16日

各 位

会 社 名 小倉クラッチ株式会社
代表者名 代表取締役社長 小倉 康宏
(コード番号：6408)
問合せ先 執行役員経営管理本部長 関根 秀利
(TEL. 0277-54-7101)

**(訂正・数値データ訂正) 「2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」
の一部訂正について**

当社は、2020年8月6日に開示いたしました「2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信します。

記

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、別途、本日(2020年12月16日)付「第92期(2021年3月期)第2四半期報告書の提出並びに過年度の決算の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正の箇所には____を付して表示しております。

なお、訂正箇所が多数に及ぶことから、訂正後のみ全文を記載しております。

以 上

(訂正後)



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月6日

上場会社名 小倉クラッチ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6408 URL <http://www.oguraclutch.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小倉 康宏
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 関根 秀利 (TEL) 0277-54-7101
 四半期報告書提出予定日 2020年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	8,142	△23.2	△117	—	△159	—	△200	—
2020年3月期第1四半期	10,608	1.8	402	△6.8	358	△32.0	362	△31.4

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △291百万円(—%) 2020年3月期第1四半期 423百万円(301.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△133.86	—
2020年3月期第1四半期	242.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	39,809	16,081	39.4	10,484.30
2020年3月期	42,546	16,545	37.9	10,784.95

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 15,693百万円 2020年3月期 16,143百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	100.00	100.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期(予想)配当金は、現時点では未定とさせていただきます。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想については、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を現段階において合理的に算定することが困難であることから未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年3月期1Q	1,553,323株	2020年3月期	1,553,323株
② 期末自己株式数	56,471株	2020年3月期	56,450株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	1,496,863株	2020年3月期1Q	1,496,906株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止による経済活動の自粛などにより消費が大幅に減少しました。徐々に経済の動き出しは見られるものの、第2波の発生も懸念されることから先行きが見えない状況となっています。世界経済についても、米中の貿易摩擦の長期化に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大による製造業の工場操業停止や都市封鎖、人・物の移動規制などにより経済が停滞したことで、非常に厳しい景気となりました。

このような状況のもとで、当社グループはグローバル市場で積極的な販売活動を行ってまいりましたが、当第1四半期連結累計期間における売上高は、8,142百万円と前年同期と比べ2,465百万円の減少(前年同期比23.2%減)となりました。営業損失は117百万円(前年同期は402百万円の営業利益)、経常損失は159百万円(前年同期は358百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は200百万円(前年同期は362百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 輸送機器用事業

輸送機器用事業においては、新型コロナウイルス感染症の拡大による需要減少や客先の工場操業停止などの影響を受け、国内・海外ともに売上高が減少しました。

その結果、売上高は5,615百万円と前年同期と比べ2,151百万円の減少(前年同期比27.7%減)となり、セグメント損失は8百万円(前年同期は466百万円のセグメント利益)となりました。

② 一般産業用事業

一般産業用事業においては、一部の小容量モーター用が好調であったものの、前期からの米中貿易摩擦問題による景気低迷に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を受けて、OA機器、大容量モーター、変・減速機、昇降・運搬の各業界向けの売上が減少となりました。

その結果、売上高は2,269百万円と前年同期と比べ211百万円の減少(前年同期比8.5%減)となり、セグメント損失は114百万円(前年同期は95百万円のセグメント損失)となりました。

③ その他

その他では、売上高が257百万円と前年同期と比べ102百万円の減少(前年同期比28.4%減)となりました。セグメント利益は4百万円と前年同期と比べ26百万円の減少(前年同期比84.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産は主に、現金及び預金の減少等により25,486百万円(前期末比2,694百万円減)となりました。固定資産は主に、有形固定資産の減少等により14,322百万円(前期末比42百万円減)となりました。その結果、資産合計は39,809百万円(前期末比2,736百万円減)となりました。

負債につきましては、流動負債は主に、支払手形及び買掛金の減少等により18,485百万円(前期末比2,299百万円減)となり、固定負債は主に、繰延税金負債の増加等により5,242百万円(前期末比25百万円増)となりました。その結果、負債合計は23,727百万円(前期末比2,273百万円減)となりました。

純資産につきましては、利益剰余金の減少等により16,081百万円(前期末比463百万円減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、経済活動再開の動きが見られるものの、新型コロナウイルス感染症の収束の見通しは未だ立たない状況であり、現時点において、当社グループの今後の受注見通し等を合理的に算定することが困難であることから、引き続き未定とさせていただきます。今後、業績予想の開示が可能となった時点で、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,486	6,174
受取手形及び売掛金	8,617	7,612
電子記録債権	2,389	2,235
商品及び製品	3,862	3,321
仕掛品	2,969	3,155
原材料及び貯蔵品	2,310	2,443
その他	698	641
貸倒引当金	△153	△97
流動資産合計	28,180	25,486
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	4,303	4,213
その他(純額)	7,629	7,496
有形固定資産合計	11,932	11,709
無形固定資産		
その他	698	702
無形固定資産合計	698	702
投資その他の資産	1,733	1,910
固定資産合計	14,365	14,322
資産合計	42,546	39,809
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,997	2,992
電子記録債務	4,731	4,200
短期借入金	9,760	9,442
未払法人税等	72	18
賞与引当金	316	67
その他	1,905	1,763
流動負債合計	20,784	18,485
固定負債		
長期借入金	3,436	3,469
繰延税金負債	289	329
役員退職慰労引当金	763	753
退職給付に係る負債	175	181
資産除去債務	15	15
その他	534	491
固定負債合計	5,216	5,242
負債合計	26,001	23,727

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,858	1,858
資本剰余金	<u>1,823</u>	<u>1,823</u>
利益剰余金	<u>12,977</u>	<u>12,627</u>
自己株式	△351	△351
株主資本合計	<u>16,308</u>	<u>15,958</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	<u>266</u>	<u>395</u>
為替換算調整勘定	<u>△438</u>	<u>△668</u>
退職給付に係る調整累計額	6	7
その他の包括利益累計額合計	<u>△165</u>	<u>△265</u>
非支配株主持分	<u>401</u>	<u>388</u>
純資産合計	<u>16,545</u>	<u>16,081</u>
負債純資産合計	<u>42,546</u>	<u>39,809</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	10,608	8,142
売上原価	<u>8,853</u>	<u>7,010</u>
売上総利益	<u>1,754</u>	<u>1,131</u>
販売費及び一般管理費	<u>1,352</u>	<u>1,249</u>
営業利益又は営業損失(△)	<u>402</u>	<u>△117</u>
営業外収益		
受取利息	6	4
受取配当金	26	25
不動産賃貸料	18	18
その他	16	27
営業外収益合計	<u>67</u>	<u>75</u>
営業外費用		
支払利息	41	42
手形売却損	1	1
租税公課	6	7
為替差損	25	21
貸倒損失	<u>24</u>	<u>26</u>
その他	11	17
営業外費用合計	<u>111</u>	<u>117</u>
経常利益又は経常損失(△)	<u>358</u>	<u>△159</u>
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	<u>358</u>	<u>△159</u>
法人税、住民税及び事業税	63	33
法人税等調整額	<u>△90</u>	<u>△3</u>
法人税等合計	<u>△26</u>	<u>29</u>
四半期純利益又は四半期純損失(△)	<u>384</u>	<u>△189</u>
非支配株主に帰属する四半期純利益	<u>21</u>	<u>11</u>
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	<u>362</u>	<u>△200</u>

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	384	△189
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10	128
為替換算調整勘定	41	△232
退職給付に係る調整額	7	1
その他の包括利益合計	39	△102
四半期包括利益	423	△291
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	401	△300
非支配株主に係る四半期包括利益	22	8

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器用事業	一般産業用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,767	2,481	10,248	359	10,608
セグメント間の内部売上高 又は振替高	24	9	33	—	33
計	7,791	2,490	10,281	359	10,641
セグメント利益又は損失(△)	466	△95	371	30	402

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防災関連業界向け等の輸送機器用事業及び一般産業用事業以外の事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	371
「その他」の区分の利益	30
四半期連結損益計算書の営業利益	402

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間より、新たに持分取得した砂永精工電子(東莞)有限公司並びに重要性が増した株式会社三泉及びオグラクラッチ・フィリピン, Inc. を連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は「輸送機器用事業」で103百万円、「一般産業用事業」で100百万円、「その他」で19百万円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器用事業	一般産業用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,615	2,269	7,884	257	8,142
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	1	5	—	5
計	5,619	2,270	7,890	257	8,147
セグメント利益又は損失(△)	<u>△8</u>	<u>△114</u>	<u>△122</u>	4	<u>△117</u>

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防災関連業界向け等の輸送機器用事業及び一般産業用事業以外の事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	<u>△122</u>
「その他」の区分の利益	4
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	<u>△117</u>

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。